

「貫志」～最後の最後まで～

宇佐高 進路だより

No. 2 平成30年 6月6日 発行元：宇佐高等学校進路指導班



☆ 高校総体が終わりました。3年生最後の大会がこの後行われる部活動もありますが、部活動に関して、一応の区切りがついたとあってよいでしょう。特に高校生活最後の大会であった3年生には、心の底から「お疲れ様でした！」と言ってあげたいと思います。結果は部活動によって様々でしたが、結果よりも大切なことは、それに至るまでの過程だと思えます。その過程の中で得たものすべてが今後の財産となります。

1, 2年生で部活動に加入している人は、勉強との両立など苦しいことも多いかもしれませんが、是非最後まで継続して欲しいと思います。

一言で「勉強と部活動の両立」といっても実行するのはそんなに簡単ではありません。しかし、それを達成しようとするところに成長の鍵が隠されているのではないのでしょうか。おそらく、部活動をしているときはそのことに気づきにくいと思いますが、部活動がすべて終わった後、振り返ったときに気づくと思います。

勿論、部活動に加入していない人にも成長するチャンスはあります。加入していない人は、何か打ち込むものを自分で見つければよいのです。打ち込むものは何でも構わないと思います。読書、宇佐高部活動にないスポーツ、勉強、その他です。

☆ 4月の終わりに第1回学習時間調査を実施しました。以下はその結果です。
(単位は分、小数第1位を四捨五入)

〈学年別平日・休日学習時間〉

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 |
|------|-----|-----|-----|
| 平日平均 | 144 | 128 | 152 |
| 休日平均 | 188 | 159 | 197 |

〈教科別平日学習時間〉

| 教科 | 国語 | 数学 | 英語 | 理科 | 地/公 | その他 |
|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1年 | 31 | 79 | 54 | 14 | 2 | 5 |
| 2年 | 24 | 48 | 41 | 10 | 3 | 1 |
| 3年 | 27 | 45 | 51 | 18 | 8 | 3 |

〈教科別休日学習時間〉

| 教科 | 国語 | 数学 | 英語 | 理科 | 地/公 | その他 |
|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1年 | 54 | 76 | 67 | 25 | 5 | 4 |
| 2年 | 34 | 50 | 38 | 21 | 15 | 2 |
| 3年 | 35 | 49 | 55 | 35 | 20 | 3 |

学習時間の結果についてはいろいろな見方ができると思います。ただ、一つ言えるのは本校が掲げている目標の時間には届いていないということです。各学年とももう少し学習時間を増やして欲しいのですが、ここで強調しておきたいのは、ただ学習時間を増やせばよいということではなく、集中しながら「学習方法」(内容)の工夫をして欲しいということです。

学習をする際、まず大切なのは睡眠時間です。ある程度の睡眠時間を確保しないと集中した学習はできません。また食事や適度な運動も学習に大きな影響を与えます。そういったことに関してはご家庭のサポートも必要になってきますので、どうかよろしくお願いします。その上で、集中して「学習方法」を工夫すれば、必ずと言ってよいほど成績は伸びます。成績が伸び悩んでいる人は、教科担当の先生に「学習方法」について相談するとよいと思います。宇佐高の生徒達を見ていると、課題や授業内容の質問に来ている姿はよく見かけるけれど、「学習方法」について学ぼうとしている姿は殆ど見かけたことがありません。「学習方法」などは自分で考えるものと思われがちですが、自分に合った方法で学習している人は案外少ないのではないのでしょうか。友達や先生から聞いたり、書籍を読んだりして自分に合ったスタイルを見つけて学習して欲しいのです。

☆ 4月の終わりに第1回進路希望調査を実施しました。以下はその結果です。

| | 国公立大学 | 私立大学 | 短期大学 | 専門学校 | 公務員 | 就職 | 未定 |
|----|-------|------|------|------|-----|----|----|
| 1年 | 99 | 12 | 11 | 22 | 2 | 3 | 4 |
| 2年 | 86 | 21 | 10 | 33 | 3 | 0 | 4 |
| 3年 | 78 | 23 | 17 | 29 | 6 | 4 | 0 |

進路希望に関しては、まず何よりも生徒本人の気持ち大切です。更に保護者の思いも入ってくると思います。ご家庭で進路に関する話をしてください。明確な進路希望は学習にもよい影響を与えます。よろしくお願いします。

進路希望に関して1つだけお願いがあります。それは現在の自分の方に照らして「ココは無理だ」と考えるのではなく、将来を考えたとき「どうしてもココに行きたい」と考えて欲しいのです。よく“人間の可能性は無限だ”と言われますが、今まで生徒達を見てきて、つくづくそう思います。明確な目標を持った時点から180度変わっていった生徒達を沢山見てきたからです。「まさかあの子がこんな風になるとは！」と教師が口を揃えて言った場面が数々あります。

進路希望に関して悩んでいる人は、是非HR担任に相談したり、進路指導室に来たりして欲しいです。遠慮はいりません。悩んでいるということは真剣に考えているということですから立派なことなのです！

*裏面は入試改革に関する資料です。是非、目を通してください。次回の進路だよりは「なぜ勉強をするのか」ということに関して一緒に考えてみたいと思います。

大学入学
共通テスト

求められる力が変わる!?

への対応

大学入試センター試験に代わって導入される「大学入学共通テスト」では、思考力・判断力・表現力を中心に問う新しい問題が出題されます。では、求められる力がどう変わるのか、ここではそのポイントを紹介합니다。

変わる 入試

- ①思考力・判断力・表現力をより重視
- ②記述式問題の導入(国語・数学)
- ③英語は民間の4技能検定試験も活用 ⇒ 詳細はP.09へ

①思考力・判断力・表現力をより重視

高等学校学習指導要領で意味を込めて示された「能力の三つの柱」

学びに向かう力
人間性等
どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

知識・技能
何を理解しているか
何ができるか

思考力・
判断力・表現力等
理解していること・できること
をどう使うか

◎マークシート式問題の改善により、
全教科において思考力・判断力・表現力を
重視した出題がされる

◎思考力・判断力・表現力を重視する方向性は
次期学習指導要領の目指す方向性とも一致

◎個別試験でもすでに同様の傾向がみられる

②記述式問題の導入(国語・数学)

大学入学共通テスト

マーク

+

記述

国語・数学

◎国語と数学は一部で記述式問題が導入される

◎記述式問題の出題範囲は
「国語総合(古文、漢文除く)」と「数学I」

◎国語は80～120字程度を3題程度、数学は3題程度

◎マークシート式問題と記述式問題は同一日程で、
当該教科の試験時間内に実施(1月中旬の2日間)

試行調査(プレテスト)問題を読み解く

2017年11月13日～24日の期間に実施された試行調査は、英語を除く4教科11科目で行われ、全国の高校の4割にあたる約1900校の2、3年生延べ約18万人が参加しました。想定よりも多くの応募があり、急ぎよ卒を増やしたことから関心の高さが伺えます。では、実際に試行調査で「求められた力」とはどのようなものだったのでしょうか。

試行調査で「求められた力」

- 「社会との関わり」や「協働学習」「探究活動」の場面で働く思考力
- 「複数の資料」を読み取り、情報を統合・考察する力
- 多様な解答形式への対応(選択肢を参考に解答できない問題)

試行調査の出題からわかった「求められる力」のポイントは左の3つ、記述式のみならずマークシート式でも、日常場面や探究活動のアプローチから思考力・判断力・表現力がより深く問われる問題が出題されていました。

◎記述式問題で求められた力

< 国語 >

青高生の主張

第一回は、部活動の充実

部活動は、学校生活の中で最も大切な活動の一つである。部活動を通じて、仲間と協力し、目標に向かって努力する経験が、将来の社会生活に役立つ。また、部活動を通じて、自己の能力を伸ばし、自信を育てることができる。部活動は、学校生活の中心であり、生徒の成長に大きく貢献している。

評解調査学校 生徒会本部活動規約

第1章 総則

第1条 この規約は、本校の部活動に関する事項を定めることとす。

第2条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第3条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第4条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第5条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第6条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第7条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

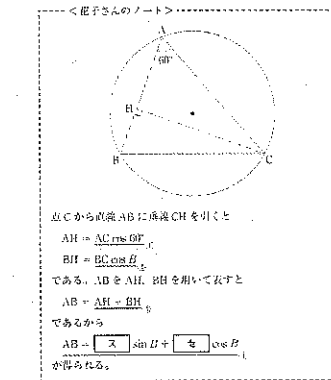
第8条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第9条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

第10条 本規約は、本校の生徒会本部活動規約として制定する。

< 数学 >

花子: ます、角の頂角の場合を考えてみたよ。



これは記述式問題で出題された素材文。問題の内容は、話し合いの内容を踏まえ、複数の資料から情報を選択・整理し、目的に応じて適切にまとめるもの。経験や既存知識に基づいて情報を整理し、根拠を示しながら論理的に記述することが求められた。

三角比の宿題について太郎さんと花子さんが対話する場面が描かれたうえで、鋭角の場合の証明について、解答の方略をとらえた上で、鈍角の場合にどこを修正すれば良いかを考察させる問題。

- ①他者の解答の方針を正確に捉える
- ②考察した結果を発展的に活用するという2つの力が求められた。

◎マークシート式問題で求められた力

問1 炭素、水素、酸素からなる、ある有機化合物12gを完全燃焼させたところ、二酸化炭素0.60molと水0.80molが生成した。この有機化合物として考えられるものを、次の①～⑥のうちからすべて選べ。 1

- ① アルコール
- ② エーテル
- ③ アルデヒド
- ④ ケトン
- ⑤ カルボン酸
- ⑥ エステル

受験生が戸惑いがちな「すべて選べ」という形式で出題され、求めた情報からそれぞれの選択肢を吟味する思考力が問われた。このように試行調査では、マークシート式問題でも思考力・判断力・表現力が問われる出題が目立った。